

全都1900人組織を足掛かりに 未来の展望を開く3000人のCU東京の実現へ 団結しよう



2025年6月29日ラパスホールにおいて
 第17回定期大会が開かれました



冒頭、伊東弘子副委員長は、開会のあいさつで軍事費のために、平和や人権に使うお金が削減され、世界的にジェンダーバックラッシュが起きていると述べました。また、「平和なくして平等なし、平等なくして平和なし」という言葉を引用し、人権や労働運動の重要性を強調しました。生活保護費削減は違法であるという最高裁の判断を良いニュースとして紹介しました。そして、おかしいと思ったことは声を上げて訴え、仲間を増やすことの重要性を訴えました。

佐藤執行委員長の挨拶

佐藤義見執行委員長は、過去1年で亡くなっ



大会議長団の文京の湯本さん千代田の内田さん

た仲間に黙祷を捧げ、第17回大会の開催に感謝を述べました。また、組織拡大の目標を達成し、組合員数が1900名に近づいていることを報告しました。さらに、外資系企業との争議や労働相談の増加など、組合の活動成果を強調しました。



最低賃金の引き上げや2000名、3000名への組織拡大を目指すことを表明し、一泊学習会の開催を提案しました。

来賓のあいさつ



東京地評矢吹議長は、CU東京の組織拡大を地域と一体となった活動と感謝を述べました。

また、春闘における賃上げの現状や、大企業と中小企業の賃上げ格差、中高年層の賃金問題などを指摘しました。アメリカとの賃金格差や企業の内部留保の問題にも言及し、政治を変えて労働者の要求を実現する必要性を訴えました。最低生計費調査の結果から、若者の生活が逼迫している状況を説明し、全国一律1500円の最低賃金実現を訴えました。

最後に、労働組合の組織拡大と地域との連携を呼びかけ、大会の成功を祈念しました。



全労連中野常任幹事は、日頃のCU東京の活動に敬意を表し、2000人、3000人の組合への早期実現を願いました。



日本共産党のとや東京都議会議員は、選挙の結果に触れ、都政与党の議席交代や小池都政への批判の高まりを話されました。

討論

江戸川支部の飛鳥さんが過去の支部会計不正問題から再建をしましたと報告されました。組織拡大の成功や労働相談会議の執行委員会委員の成立、CUニュースの編集会議と



ニュース発行、団体交渉の状況、障害者雇用におけるメンタル面の問題と相談員の学習交流会の要望などが述べられた。

港支部の岩淵さんは、自身の雇用問題について、2019年4月1日に副看護部長として入職、その後看護部長に昇格したが、6年目の契約更新前に契約終了を告げられた。無期転換ルールを目前に権利を奪われ、団体交渉や病院組織内での組合立ち上げ、ビラの配布などの活動を行ってきた。



原水禁世界大会広島大会への参加や、戦後日本の状況に対する認識なども述べられました。

地域労組こうとうの諸隈さんは、組合員拡大の経験、最近組合に加入してきた人の特徴について報告した。



春の拡大目標24名に対し、協力組合員の拡大や労働相談を通じた加入があった。保育園の待遇改善に関する区議会傍聴や議員への相談やアンティーク家具店店長の移動命令と休職など、具体的な事例が紹介されました。

職場に残って交渉を続ける組合員が増加しており、問題解決後の組合との関係についても発言されました。

ユニオンちよだの増渕さんは、AGCグリーンテックや外資系の会社の問題について報告した。AGCグリーンテックの住宅手当に関する裁判や国連の女性差別撤廃委員会の報告がされた。また、嫌がらせの状況、外資系金融機関の組合員加入などのは発言をされました。



外資系企業に対し、日本の法律を遵守し労働者の立場を守るよう求めました。

農民連の吉川さんが、自身の病気と職場復帰の問題で、CU東京への相談をしました。不当な扱いについて発言されました。



三多摩地本の三宅さんが、朝日生命の事件解決と三多摩の活動方針について報告しました。



三多摩地域の組織確立の重要性、労働相談の状況、地域特有の労働組合の状況、3本の線沿線での支部作りなどがはなされました。事務所の確保や専従の確保が課題として挙げられた。

文京支部の鈴木さんが、本部の執行委員会の時間帯に対する疑問を述べた。平日の13時半という時間設定が労働者の参加を妨げているのではないかと指摘し、誰もが参加できるように時間設定を要望した。



女性会議の丹野さんは、伊東弘子女性会議議長の「国連女性差別撤廃委員会」傍聴・ロビー活動への派遣や南大塚アフタヌーンティーの開催、多摩動物園見学交流会、第一回女性会議総会などの活動が紹介された。



今年度の活動方針として、仲間の支援、意思決定の場への女性参加、女性差別撤廃委員会の勧告実現、ハラスメント学習、争議でたたかう女性への応援などが挙げられました。

2025年度 CU東京 役員

役職名	名前	所属支部
執行委員長	佐藤 義見	三多摩地本
副執行委員長	砂川 恵	東京土建
同	高畠 素昭	練馬支部
同	寺川 知子	三多摩地本
同	松井 優希	地域労組こうとう
同	小川 富弘	文京支部
同	伊東 弘子	文京支部
書記長	白滝 誠	台東支部
書記次長	岩田 輝幸	中野支部

まとめ

執行部から討論のまとめを白滝書記長が行いました。

江戸川の集団討議、港の岩渕さんの復転と古川病院のたたかい、千代田の外資系の組織、農民連分会の活動、さざまな三多摩の支部

建設、文京の鈴木さんの会議の時間帯の要望、女性会議の報告など、各発言内容が話された。

11月の一泊研修会学習に向けた準備などが述べられた。



討論の結果、強い反対意見は見られなかったため、拍手による採決が行われた。大会は終了しました

退任された役員

中野支部 菊池さん

渋谷支部 田中さん



ちょっと覗いてみたドイツの暮らし②

CU豊島支部 皆内マサ子

デュッセルドルフ日本人が多く住んでいる都市です。日本人学校も小中合わせて1000人くらい通学しています。小学校2年生までは親が送り迎えします。下校時に校門に移動のアイスクリーム販売車が来たり、迎えに行く親に鶏肉を販売する女性もいます。

学校の近くに住んでいましたので下校時には日本語が聞こえてきます。ドイツであることを忘れてしまいます。海外に駐在する親について子どもたちは行きますので、短い期間での移動もあります。今を大切に友達と過ごしています。仲良しの友達も今年の5月には帰国してしまいます。

ドイツのお祭りカーニバルを見ることが出来ました。2日間開催され、1日目は住んでいる町で行われ、日本人学校の2年生が寿司の仮装して沿道の人たちにお菓子を投げました。2日目は市庁舎がある中心街で行われました。多数のトラクターに思い思いの仮装してお菓子やおもちゃなど「ヘラーウ」といって投げしてくれます。沿道の人も仮装をして「ヘラーウ」と叫びます。トランプやプーチンを模したものもありました。火を噴く自動車など大掛かりです。ウクライナの旗をもって行進した人たちに沿道から大きな拍手が起きました。2日間でゲットしたお菓子は4人で何と7.5キロありました。



第17回大会へいただいたメッセージ (敬称略)

新宿一般労働組合
東京土建一般労働組合
年金者組合都本部
全労連・埼玉ユニオン
全神奈川地域労組協議会

旬報法律事務所 CU東京弁護士事務局
大久保修一弁護士
江東総合法律事務所 中村優介弁護士
新日本婦人の会東京都本部
働くもののいのちと健康を守る東京センター
東京母親大会連絡会
㈱日本共同システム
中央労金池袋支店
桜保険事務所
あかつき印刷株式会社

ありがとうございました

物価高、コメ、賃上げ、消費税、財源、企業団体献金、ジェンダー平等と、幅広く多面的な争点が浮上した参議院選挙。明確に外国人を排斥する勢力が伸長したのは戦後80年初ではないか。ヘイトとポピュリズム、アメリカ大統領が煽る戦法が日本に上陸してしまった。ネットでの誤った情報拡散が危機感を募らした■衆院に続いて与党が少数になった。裏金で財界言いなり、トランプ関税に抗議もできず、保守層からそっぽを向かれ、その票がもっと右に流れたことは強い政治不満の現れでもあるが、これから激動の政治状況が展開するだろう■cu東京は第17回大会を成功させた。春の拡大月間も目標達成して1,900人の組織にあと一歩まで迫れた。労働相談機能の「駆け込み寺」から、職場で仲間を増やして要求の実現に向かう経験も積んでいる。地域にもっと組織を広げる挑戦もされている■ネット社会に追いつき活用もしなければならぬが、組合はリアルな世界でも地盤を培う。